

教員養成の各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1 年次	前期	教育の目的と意義を理解し、幼稚園教諭として必要な教養基礎・社会人基礎等の知識や資質の形成をする。 これらの実現のために、日本国憲法、体育Ⅰ、体育Ⅱ、外国語コミュニケーションⅠ、情報科学、幼児と言葉、教育原理、発達心理学を配置する。
	後期	必要な教養基礎・社会人基礎の知識をさらに醸成するとともに、教育の本質を理解し、幼稚園教諭として基盤となる子どもに対する「豊かな愛情」や「人間性」、教育に対する「使命感」や「責任感」を培う。 これらの実現のために、外国語コミュニケーションⅡ、情報活用、幼児と健康、幼児と音楽表現Ⅰ、幼児と造形表現Ⅰ、保育内容「人間関係」の指導法、保育内容「言葉」の指導法、教職論を配置する。
2 年次	前期	教職の意義を理解し、幼児理解や学級経営等に関する必要な能力の基礎を身に付ける。 その達成のために、幼児と環境、幼児と造形表現Ⅱ、保育指導計画の方法、教育方法論、教職演習、幼稚園教育実習Ⅰを配置する。
	後期	幼稚園教諭に求められる「基礎知識」や「技能」を学び、教育の目的を理解すると共に保育内容の方法や指導力の基盤を形成する。 その達成のために、保育内容「健康」の指導法、保育内容「環境」の指導法、保育内容「表現」の指導法Ⅰ、特別支援教育、子ども理解の理論及び方法、教育相談、教職演習、幼稚園教育実習Ⅱを配置する。
3 年次	前期	幼稚園教諭になるための「実践的な指導力」と「実務能力」を修得する。 そのために、保育・教職実践演習Ⅰを配置する。
	後期	保護者や地域の関係者との適切なコミュニケーションを図り、前期に習得した「実践的な指導力」と「実務能力」を応用、発展させる。 その実現のために、前期に引き続き保育・教職実践演習Ⅱを配置し、加えて保育内容総論を配置する。